

## 新聞の読み方を考える

—「事実」の部分と「意見」の部分の色分けしよう—

開倫塾

塾長 林明夫

Q 1 : ものごとを分析する力や論理的な考え方を身に着けるにはどうしたらよいですか。

A : 新聞の一つ一つの記事や文章をよく読み、「事実」の部分と「意見」の部分、マーカーや色鉛筆を使って色分けすることをお勧めします。

Q 2 : えっ、どういうことですか。

A : (1)新聞の多くの記事や論説などでは、読者に読んでもらいたい「事実」を 5W1H の形で書いています。

(2)新聞社は、読者に伝えたい出来事(事実)を 5W1H、つまり、① WHEN(いつ)、② WHERE(どこで)、③ WHO(だれが)、④ WHAT(何を)、⑤ WHY(なぜ)、⑥ HOW(どのように)の形で報道しています。

(3)新聞は「事実」を 5W1H の形で伝えるほかに、「この事実を踏まえて、どのように考えるか」「これからどうしたらよいか」という、「事実」についての「意見」も読者に伝えています。

Q 3 : 新聞の記事や論説には、「事実」の部分と「意見」の部分があるということですね。

A : (1)はい。その通りです。

(2)私が皆様にお勧めしたいのは、5W1H で書いてある「事実」の部分と、それに対する「意見」の部分、マーカーや色鉛筆で色分けすると、面白く、素晴らしい勉強ができるということです。

Q 4 : どのような記事や論説を用いて、「事実」の部分と「意見」の部分の色分けすればよいのですか。

A : (1)一番面白いのは、各新聞社が毎日掲載する「社説」です。

(2)社説は、地域や日本、世界にとって我々が考えなければならないテーマについて、新聞社としての考え方をまとめて示した文章です。このような「事実」には、新聞社としてこのように考えるという「意見」を表明するものですから、その新聞の読者としては一番熱心に読み、自分でそのテーマについて考えるときに参考にすべきものです。

(3)社説を使って「事実」の部分と「意見」の部分、マーカーや色鉛筆で色分けし、大切なことが書いてあったら、自分の考えも書き加えながらノートやカードに書き抜くことをお勧めします。

Q 5 : なぜノートやカードに大切なことを書き抜くとよいのですか。

A : (1)このような「事実」には、このような「意見」や考えもあるということを、新聞を毎日読んで「事実」の部分と「意見」の部分の色分けすることで学び、身に着けることができるからです。

(2)「これはちょっとおかしいのではないか」「もっと違うようには考えられないか」という「批判的思考(critical thinking、クリティカル・シンキング)能力」を身に着けるのに役立つからです。

(3)ものごとを自分で考える力を身に着けるのに役立つからです。

Q 6 : 「批判的思考能力」と「自分で考える力」ですか。面白いですね。

A : (1)はい。これに加えて、事実をいろいろ分析して考える力(分析的思考能力)、こうだからこうだと理詰めで考える力(論理的思考能力)も身に着きます。

(2)そのように一つの出来事を深く考えた上で自分の意見を取りまとめ、次にどうしたらよいかを考えるとときにも役立ちます。

(3)特に、一つのテーマについて多様な人々と議論するときに、相手の立場やものごとについての考え方をよく認識し、「理解」した上で自分の考え方(意見)を述べるときに役立ちます。

\*アクティブラーニングの授業に欠かせませ。

Q 7 : 最後に一言どうぞ。

A : (1)エッセイやレポートを書くとき、入学試験の作文や論文試験には、新聞の「事実」の部分と「意見」の部分の色分けした記事を切り抜いたスクラップブックは極めて有用です。

(2)是非、1日に1つでも2つでもOKですから、これぞという記事や社説などを「事実」の部分と「意見」の部分の色分けした上で切り抜き、「スクラップブック」にのりで貼り付けて自分の意見も書き添え、繰り返し読み直しましょう。

(3)これを入試の当日まで続ければ、素晴らしい結果が必ず得られますよ。入学試験だけでなく、すべての試験に素晴らしい結果をもたらします。

\*英語が得意な人は英字新聞でも是非挑戦を。